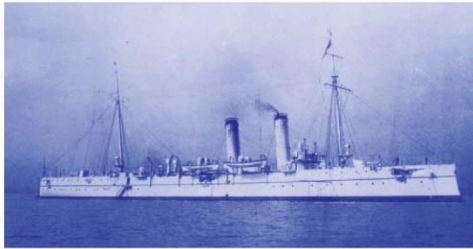


呉の歴史

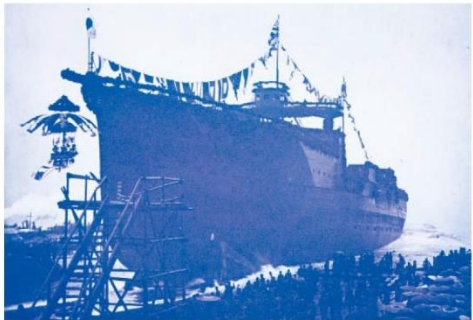
くれ かいぐん こうしょう せつりつ
2. 呉海軍工廠の設立 明治36(1903)年

艦艇や兵器などを外国からの輸入にたよっていた日本は、それらを国産化するために、呉鎮守府の造船部門と大砲などを製造する兵器製造部門を統一して明治36(1903)年、

①※ をつくりました。その後、呉海軍工廠は、一等巡洋艦「筑波」と「生駒」を短期間で完成させ、日本一の海軍工廠としての地位を確立しました。
 ※海軍が管理する工場・研究所のこと。



▲呉で最初に造られた通報艦「宮古」(明治34~35年)



▲一等巡洋艦「筑波」(明治38年)

いじょう むかし くれ つく
 100年以上も昔に呉で造られた船はどんなものだったのか。



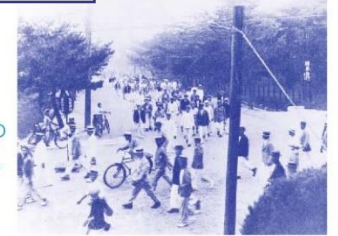
呉の歴史

たいせん けい き
3. 大戦景気 大正3(1914)年~大正8(1919)年

海軍拡張にともなう技術の進歩に加え、② によって呉のまちは好景気にわきました。

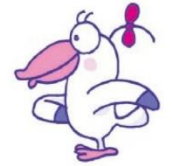


「職工」の暮らしも向上し、
職工黄金時代 とも表現されました。



▲呉海軍工廠工員の出勤風景

第一次世界大戦(大正3(1914)年~大正7(1918)年)が始まると、日本から連合国やアジア地域向けの輸出が急増したの。
 その結果、輸出が輸入を上回るようになって日本経済がうるおったことを**大戦景気**というのよ~。



また、世界の技術に追いつくため、海軍先進国であったイギリスから導入した最先端の技術を発展させて、世界有数の艦艇を建造しました。



▲公試中の戦艦 (大正9年)

世界で最初の41センチ主砲を搭載した戦艦「長門」も呉で建造されたんじゃ。

